

日本経済新聞 九州経済 B 31面

中小支援ファンドに出資

■西日本シティ銀行 二日、九電工と中小企業基盤整備機構などが設立した中小企業支援ファンド「チャレンジ九州・中小企業ががんばれファンド」に出資すると発表した。同ファンドの総額約十億円のうち、九電工が出資していた約五億円分を、西日本シティ銀と九電工が新設した別ファンドが引き受ける。同行の参加で、投資先企業への取引先紹介などを充実させる。



西日本新聞 地域経済 9面

中小企業支援へ  
西シ銀ファンド

九電工など2社と

西日本シティ銀行(福岡市)は二日、連結子会社のNCB経営情報サービス(同)が設立したベンチャーファンドに西社と九電工(同)の計三社が、ファンド総額の計約五億円を共同出資した、と発表した。九州に主要拠点を置く中小、ベンチャー企業を主な支援対象としている。

同ファンド(西日本チャレンジ投資事業有限責任組合二号)の資金は、既に存在する別ファンド「チャレンジ九州・中小企業ががんばれ投資事業有限責任組合」に拠出。チャレンジ九州と一体運用する。主な支援先としては、九州・山口・沖縄各県に拠点を置き、独自のアイデアや技術、ノウハウで新商品開発や新事業に挑戦する企業を想定。業種・業歴は問わない。

熊本日日新聞 経済 6面

西日本シティ銀と九電工

地場支援の強化へ  
投資ファンド設立

西日本シティ銀行は二日、九電工と共同

で約五億円を出資し「西日本チャレンジファンド2号」を設立したと発表した。新商品開発や事業拡大を目指す地場企業を対象に、株式や社債の取得などを通じて投融资する。

期間はおおむね四年間とし、ドーガン・インベストメンツ(福岡市)が運営。九電工や中小企業基盤整備機構などが九州のベンチャー・中小企業向けに手掛けている「チャレンジ九州・中小企業ががんばれファンド」とも連携する。

西シティ銀は二〇〇〇年、独自に西日本チャレンジファンド1号をつくり、十八社に投資。地場支援の強化のため2号ファンド設立を決めたという。

(坂本尚志)